

(様式2)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 25 年 1 月 17 日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3490100249		
法人名	社会福祉法人三篠会		
事業所名	グループホーム白木の郷		
所在地	広島市安佐北区白木町小越230番地 (電話) 082-828-0123		
自己評価作成日	平成24年10月26日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	
-------------	--

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	(社福) 広島県社会福祉協議会
所在地	広島県広島市南区比治山本町12-2
訪問調査日	平成24年11月13日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

<ul style="list-style-type: none"><li>・おやつ作りなどの材料を購入するため、ご利用者様と一緒に近隣へ出掛けるふらっと外出を実施している。外出も地域交流として捉え、時間が空けば積極的に行っている。</li><li>・併設している介護老人保健施設を連携と取り、介護および医療における情報交換を行っている。</li></ul>
---

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

<p>グループホーム白木の郷（以下、ホーム）は、自然豊かな小高い丘の上に位置し、同敷地内には法人が運営する身体障害者療護施設及び介護老人保健施設があります。総合福祉施設として、介護及び医療の面について密接な連携を図られています。</p> <p>また、併設施設では、地域住民との交流事業「ぼっかぼか広場」を毎月開催されています。この事業は、地域交流の一環で地元住民を招待して、食事会や演奏会などが催され、ホームの入居者も参加するなど、楽しみの一つになっています。</p> <p>ホームでは、入居者の気分転換を図るための取り組みとして「ふらっと外出」を実施されています。その日の入居者の体調や状態を見て、職員と一緒に、近くのスーパーへ買い出しに行ったり、ドライブに出かけたりされています。嗜好品、性格、思い、意向の把握などの新たな情報を得ることや、職員と入居者がコミュニケーションを図ることで支援の効果があがっています。</p>
--

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営（1ユニット）					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	事業所独自の理念を掲げ、職員全体で共有している。また、理念を基として日々のケアを行っている。	職員で考えた「毎日を楽しく笑顔でゆっくりと寄り添い、ここへ来て良かったと思えるような もう一つの家・家族でありたい」という理念を掲げられています。理念は玄関、事務所内に掲示し、職員は「もう一つの家でありたい」という思いを胸に、日々ケアに取り組んでいます。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	公民館活動や地域の集会所で行われる行事（七夕飾り作りや門松作りなど）に参加し、地域住民との交流を深めている。	併設施設で毎月開催される、地域住民との交流事業「ぽっかぽか広場」に参加したり、公民館や地域の集会所での行事に参加したり、日頃から地域住民と交流を深められています。今年の敬老の日には、地域の住民20人を招待して、ホームで食事会を実施されました。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	運営推進会議においてご利用者様にも参加して頂いたり、地域の方を招いて一緒に食事をする場を設けるなどして、理解を得ている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	2ヶ月に一度実施し、行事報告や事故報告などを近況報告を行っている。ご家族様や地域の方との交流の場となっている。	会議は2か月に1回開催されています。参加者は、自治会長、民生委員児童委員、地域包括支援センター職員、区役所職員、家族、入居者で構成されています。家族が参加しやすいように平日と土曜日の交互に開催し、茶話会方式の雑談の中で参加者の意見を汲むように工夫されています。	
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	白木地区地域包括支援センターとの情報交換を行い行政との連携に努めている。また、運営推進会議に行政担当者、包括のケアマネに参加してもらい情報交換を行っている。	運営推進会議に、区役所職員、地域包括支援センターのケアマネジャーの参加があり、情報交換をされています。また、身寄りのない入居者の成年後見人のことで、行政に相談するなど、連携が図られています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>玄関の施錠と共に身体拘束は行っていない。処遇会議などを通じて身体拘束に対する意識を高め、身体拘束ゼロを維持している。</p>	<p>日中、玄関は施錠されていません。居室は掃き出し窓のため、夜間は併設施設の夜勤者と協力・連携し、対応されています。身体拘束について、月1回の処遇会議で議題にしたり、認知症実践者研修に参加した職員から伝達研修を受けたり、職員の意識を高めるよう努められています。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>処遇会議を通じ、虐待防止の意識を共有している。また、外部研修に参加し、さらに理解を深めていきたい。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>全職員に権利擁護に関する研修などは行っていないが、新任職員については、新任研修に権利擁護、法令遵守などについて学ぶ場がある。</p>		
9		<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>			
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>運営推進会議を利用してご利用者様・ご家族様の意見を聴いている。また、法人全体の取組みで、顧客満足度調査を実施しており、家族へアンケートを送付し、その意見を元に改善できる所は改善している。</p>	<p>運営推進会議に、家族、入居者の参加があり、意見把握に努められています。また、法人の取組みで、年に1回、入居者・家族へ顧客満足度調査を実施し、その結果は玄関に掲示されます。アンケートで出た意見は、業務改善に繋げておられます。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	月に一度スタッフ会議を開き、職員間で意見交換を行っている。また、年に1度代表者と面談を全職員と行っている。	月に1回、2ユニット合同でスタッフ会議を実施されています。入居者の状況、業務の改善事項、課題等について検討されています。入居者の気分転換を目的とした「ふらっと外出」は、職員からの提案で実施されるようになりました。	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	半期ごとに個人目標を設定をすると共に、その目標に対する評価を上司との面談で行っている。その際、意見交換も行っている。		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	OJT委員会を設置し、新人職員に先輩職員がついて指導を行っている。また、研修委員会で職員が外部の研修に参加し、後日振り返りも含め施設内で報告会を行っている。		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	他事業所との交流はほとんど無いが、法人内で新任研修や中堅研修を行い法人内他施設との交流の中で、意見交換を行っている。		
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	入所前に事前面接を行い、要望や不安なこと等聞くようにしている。また、入所されてからもご本人様の訴え・要望を傾聴し、ゆっくりと関わるようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	入所前にご家族様を含めた事前面接を行い、要望や不安なこと等を聞くようにしている。また、運営推進会議や外出支援などにもご家族様の参加を促し、関係を築く努力をしている。		
17		○初期対応の見極めと支援  サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	ご本人様とご家族様の意見・要望を聞きながら、各専門職が連携して支援を行っている。また、併設事業所の情報も提供もっている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	各ご利用者様のペースを尊重し、共同生活をすることで信頼関係を築いている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係  職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	近況報告や相談を行っている。運営推進会議や行事などの参加を促すため、月に1度行事計画表を送付している。また、運営推進会議においては、週末と平日で交互に開催し、多くのご家族様に参加して頂けるように工夫している。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	地域の行事などに参加したり、買い物などを通じて馴染みの場所や人と関われるように努めている。また、可能な範囲で自宅へドライブするなどしている。	公民館で行われる書道などのクラブ活動に通ったり、家族と一緒に馴染みの美容室へ出かけられたりする入居者もいます。地域の行事への積極的な参加、近くのスーパーへの買い物などで、馴染みの場所や人との繋がりが途切れないよう支援されています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	日々の生活(皿洗いや洗濯物干し)などを通して、お互い助け合いながら生活をして頂いている。机の配置についても、パーソナルスペースを確保しながらお互いが交流できるよう配慮している。		
22		○関係を断ち切らない取組み  サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	契約終了後も支援が必要な場合は、相談に応じ退所先の調整などを行っている。併設施設に移動された場合も、ご利用者様と職員が併設施設へ伺い交流をはかっている。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日頃よりご利用者様の変化や気づきを共有すると共に、月に一度の処遇会議にて、全体で協議し個別のケアを話し合っている。	入居者一人ひとりの思いを把握し、ケアの方針を処遇会議で検討されています。毎日楽しいことに取り組みたい、日記を毎日書きたいという入居者の希望を継続できるよう、具体的にケアプランに位置づけて支援されています。	
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	事前面接において今までの生活歴を把握するよう努めている。また、昔馴染みのモノ(人形など)を持ってきて頂ける様ご家族様をお願いしている。		
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	併設事業所の看護師と情報を共有しながら、体調管理を行っている。一人一人とコミュニケーションを図り、何か変化があれば職員間で把握するようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>処遇会議にて、気づきや意見交換を介護従事者間で行い、主治医、看護師などの意見も取り入れて他職種でご家族様、ご本人様の</p>	<p>ケアプランは、入居者、家族の希望を取り入れ、毎月処遇会議を開催されています。入居者の状況など職員が気づきを出し合い、作成されています。看護師、主治医の意見を聞き、健康管理に関する指示事項も加えられます。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>一人ひとり個人記録を作成している。業務日誌や連絡帳も使用し情報共有を図り、実践へ繋げている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>併設事業所を活用することで、ご利用者様・ご家族様の要望、ニーズに応えられるように柔軟に対応している。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>個々の特技や趣味を把握し、地域の公民館のクラブ活動に参加している。また、地域行事にも参加し交流を図っている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>ご家族様より希望の病院を伺い、出来るだけご希望の病院へ受診するようにしている。</p>	<p>入居者、家族の希望するかかりつけ医で受診されています。通院は、職員の付き添いのもと行われますが、家族が同行されることもあります。定期的に歯科の住診がありますが、かかりつけの歯科に通われている入居者もおられます。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p>	<p>他事業所の診療所に、状態を報告し体調管理に努めている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院された場合、ご利用者様の状態をご家族様や医療機関に連絡し確認をしている。退院後は速やかに入所して頂けるよう調整をしている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。</p>	<p>利用開始前を含め、重度化された場合、重度化しそうな場合は、ご家族様と相談して、併設事業所へ移って頂くか他施設を紹介、時には調整を行い十分に医療的ケアが受けれるよう支援している。</p>	<p>入居前に家族にホームの方針を説明し、重度化や終末期を迎えた場合は、ホームで対応できるところまで支援されています。医療、看護処置が必要となった場合は、併設の介護老人保健施設で対応されています。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。</p>	<p>施設内研修や外部研修を通じて、急変時や事故発生時の対応について学ぶ場を設けている。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。</p>	<p>年に2回の消防・避難訓練を実施している。また、うち1回は地域住民に参加していただき、火災時の避難誘導シミュレーションを実施している。</p>	<p>年2回、夜間を想定した避難訓練を実施されています。訓練は、併設の施設と合同で消防署の立ち会いのもと、地域の防災連合会や地域住民の参加を得て行われています。また、地域の防災連合会と防災協定を交わし、いざという時に協力し合える関係づくりができています。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	業務日誌などの記録も敬語での記録を心掛け、記録の取り扱いについても慎重に行っている。	処遇会議で、認知症高齢者に対するケアの注意すべき事項などについて確認をされています。高齢者としての尊厳を守り、一人ひとりの人格を尊重した、丁寧な言葉かけや対応を心がけておられます。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	出来るだけご本人様が自分で決定して頂けるように配慮し、コミュニケーションを図っている。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	ご本人様のペースを尊重し、ご本人様の意志を尊重したケアを行っている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	意思疎通の可能な方の更衣については本人の好きな服を着ていただいている。化粧や爪の手入れもご利用者様の希望に添ったケアをしている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	厨房へ食事を取りに行ったり、盛付け、配膳、後片付けなど手伝って頂いています。小さいですが畑で採れた野菜を使って食べる事もあります。	入居者は、職員と一緒に併設施設の厨房に食事を取りに行ったり、その後、盛り付け、配膳、後片付けされたりしています。食事前に、メニューの説明が行われ、全員が揃って食事を開始されています。職員も一緒に食卓を囲み、入居者は和やかな雰囲気の中で食事を楽しまれています。時には、そうめん、お好み焼き、鍋物等をホームで作ることもあります。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス，水分量が一日を通じて確保できるよう，一人ひとりの状態や力，習慣に応じた支援をしている。</p>	施設の管理栄養士と連携をとり、栄養バランスのとれた食事を提供している。		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように，毎食後，一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	毎食後，出来る限り口腔ケアを促し実施している。		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし，一人ひとりの力や排泄のパターン，習慣を活かして，トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	排便チェック表を作成し、排便の周期を把握するよう努めている。また、個々の周期に合わせてトイレ誘導や声掛けを実施している。	排便チェック表により周期を把握するように努め、声かけやトイレ誘導を実施されています。ほぼ自立の状況が見られますが、支援が必要な入居者には、夜間も職員が声をかけ、トイレ誘導をされています。	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し，飲食物の工夫や運動への働きかけ等，個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	毎日のラジオ体操や，晴れた日には散歩など日常生活の中で可能な範囲で身体動かして頂き，水分補給にも気を付けている。		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように，職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに，個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	基本的に順番は決まっておらず，ご本人様に聞いて入浴して頂いている。	入浴は時間や順番を決めず，入居者の希望に沿って毎日でも入浴できるように支援されています。浴室内は左右から介護できるように，浴槽の周りに広い介助スペースがあります。また，入浴剤を入れるなどし，入浴を楽しめるように工夫されています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援  一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	居室や畳スペース、玄関のベンチなどを利用して頂き、好きな場所で過ごしていただいている。		
47		○服薬支援  一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	職員全員が服薬について把握するようにしている。誤薬、服薬忘れのないように努めている。		
48		○役割、楽しみごとの支援  張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	利用者の趣味や特技を把握し、公民館のクラブ活動に参加している。また日常生活の中で出来ることは(皿洗いやゴミ捨て)はして頂いている。		
49	18	○日常的な外出支援  一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	誕生日にはご本人様と相談して行き先を決定する個別外出支援、近隣へ買い物やドライブを行うふらっと外出を行っている。	その日の天候や入居者の状態を見て、気分転換のために近くのスーパーマーケットでの日用品の買い出しや、ドライブに出かける「ふらっと外出」を実施されています。誕生日には、入居者の希望を聞いて、観光地、レストラン等へ個別に出かけられています。また、お花見等の行事を企画し外出支援に努めておられます。	
50		○お金の所持や使うことの支援  職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	金銭管理が可能な利用者は少ないため、施設側がお金を用意して立替で、買い物・外出をして頂いている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	家族に協力してもらい、可能な方のみ実施している。お正月はご家族様へ全員年賀状を送付している。		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	共用空間には利用者の作品や季節を感じさせる作品を飾っている。家庭的な雰囲気を中心掛けて空間づくりを行っている。	木造平屋建てのホームの中心に、広くて開放感のある居間があります。高い天井の天窓からは優しい陽がもれ、明るく居心地の良い空間となっています。入居者は、それぞれの場所で、ゆったりとした時間を過ごされています。壁には紅葉の貼り絵やクラブ活動の生け花の写真が掲示され、季節感を出しています。また、共用スペースの一角に和室があり、掘りごたつが設置されています。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	畳部屋に机を配置し、一人になれるこじんまりとした空間を作っている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	居室の表札を一緒に作って頂き、可能な限り在宅で使用されていたモノなど馴染みのある物を置く、またご家族様の写真を飾るなどして心地よく過ごせるよう工夫している。	広々とした居室には、ベッド、洗面所、クローゼットが備え付けられ、大きな掃き出し窓があります。入居者は、家族の写真やテーブル、クッション等を持ち込み、居心地よく過ごせるよう配慮されています。また、各居室のドアには、職員と入居者が一緒に手作りした、かわいらしい木製のネームプレートをかけ、部屋を間違わないように目印にされています。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	ご利用者様で状態が異なるが、出来ることはして頂く様にして頂き、残存機能を維持できるよう支援している。		

V アウトカム項目 (1ユニット)			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらい ③利用者の3分の1くらい ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係やとのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の3分の2くらいが ③家族等の3分の1くらいが ④ほとんどできていない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営（2ユニット）					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	事業所独自の理念を掲げ、職員全体で共有している。また、理念を基として日々のケアを行っている。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	公民館活動や地域の集会所で行われる行事（七夕飾り作りや門松作りなど）に参加し、地域住民との交流を深めている。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	運営推進会議においてご利用様にも参加して頂いたり、地域の方を招いて一緒に食事をする場を設けるなどして、理解を得ている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	2ヶ月に一度実施し、行事報告や事故報告などを近況報告を行っている。ご家族様や地域の方との交流の場となっている。		
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	白木地区地域包括支援センターとの情報交換を行い行政との連携に努めている。また、運営推進会議に行政担当者、包括のケアマネに参加してもらい情報交換を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>玄関の施錠と共に身体拘束は行っていない。処遇会議などを通じて身体拘束に対する意識を高め、身体拘束ゼロを維持している。</p>		
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>処遇会議を通じ、虐待防止の意識を共有している。また、外部研修に参加し、さらに理解を深めていきたい。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>全職員に権利擁護に関する研修などは行っていないが、新任職員については、新任研修に権利擁護、法令遵守などについて学ぶ場がある。</p>		
9		<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約時は相談員と計画作成担当者が重要事項説明書を用いて説明を行っている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>運営推進会議を利用してご利用者様・ご家族様の意見を聴いている。 また、法人全体の取組みで、顧客満足度調査を実施しており、家族へアンケートを送付し、その意見を元に改善できる所は改善している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	月に一度スタッフ会議を開き、職員間で意見交換を行っている。また、年に1度代表者と面談を全職員と行っている。		
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	半期ごとに個人目標を設定をすると共に、その目標に対する評価を上司との面談で行っている。その際、意見交換も行っている。		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	OJT委員会を設置し、新人職員に先輩職員がついて指導を行っている。また、研修委員会で職員が外部の研修に参加し、後日振り返りも含め施設内で報告会を行っている。		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	他事業所との交流はほとんど無いが、法人内で新任研修や中堅研修を行い法人内他施設との交流の中で、意見交換を行っている。		
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	入所前に事前面接を行い、要望や不安なこと等聞くようにしている。また、入所されてからもご本人様の訴え・要望を傾聴し、ゆっくりと関わるようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>入所前にご家族様を含めた事前面接を行い、要望や不安なこと等を聞くようにしている。また、運営推進会議や外出支援などにもご家族様の参加を促し、関係を築く努力をしている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>ご本人様とご家族様の意見・要望を聞きながら、各専門職が連携して支援を行っている。また、併設事業所の情報も提供もしている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>各ご利用者様のペースを尊重し、共同生活をすることで信頼関係を築いている。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>近況報告や相談を行っている。運営推進会議や行事などの参加を促すため、月に1度行事計画表を送付している。また、運営推進会議においては、週末と平日で交互に開催し、多くのご家族様に参加して頂けるように工夫している。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>地域の行事などに参加したり、買い物などを通じて馴染みの場所や人と関われるように努めている。また、可能な範囲で自宅へドライブするなどしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	日々の生活(皿洗いや洗濯物干し)などを通して、お互い助け合いながら生活をして頂いている。机の配置についても、パーソナルスペースを確保しながらお互いが交流できるよう配慮している。		
22		○関係を断ち切らない取組み  サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	契約終了後も支援が必要な場合は、相談に応じ退所先の調整などを行っている。併設施設に移動された場合も、ご利用者様と職員が併設施設へ伺い交流をはかっている。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日頃よりご利用者様の変化や気づきを共有すると共に、月に一度の処遇会議にて、全体で協議し個別のケアを話し合っている。		
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	事前面接において今までの生活歴を把握するよう努めている。また、昔馴染みのモノ(人形など)を持ってきて頂ける様ご家族様をお願いしている。		
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	併設事業所の看護師と情報を共有しながら、体調管理を行っている。一人一人とコミュニケーションを図り、何か変化があれば職員間で把握するようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>処遇会議にて、気づきや意見交換を介護従事者間で行い、主治医、看護師などの意見も取り入れて他職種でご家族様、ご本人様の</p>		
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>一人ひとり個人記録を作成している。業務日誌や連絡帳も使用し情報共有を図り、実践へ繋げている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>併設事業所を活用することで、ご利用者様・ご家族様の要望、ニーズに応えられるように柔軟に対応している。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>個々の特技や趣味を把握し、地域の公民館のクラブ活動に参加している。また、地域行事にも参加し交流を図っている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>ご家族様より希望の病院を伺い、出来るだけご希望の病院へ受診するようにしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p>	他事業所の診療所に、状態を報告し体調管理に努めている。		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	入院された場合、ご利用者の状態をご家族様や医療機関に連絡し確認をしている。退院後は速やかに入所して頂けるよう調整をしている。		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。</p>	利用開始前を含め、重度化された場合、重度化しそうな場合は、ご家族様と相談して、併設事業所へ移って頂くか他施設を紹介、時には調整を行い十分に医療的ケアが受けれるよう支援している。		
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。</p>	施設内研修や外部研修を通じて、急変時や事故発生時の対応について学ぶ場を設けている。		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。</p>	年に2回の消防・避難訓練を実施している。また、うち1回は地域住民に参加していただき、火災時の避難誘導シュミレーションを実施している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	業務日誌などの記録も敬語での記録を心掛け、記録の取り扱いについても慎重に行っている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	出来るだけご本人様が自分で決定して頂けるように配慮し、コミュニケーションを図っている。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	ご本人様のペースを尊重し、ご本人様の意志を尊重したケアを行っている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	意思疎通の可能な方の更衣については本人の好きな服を着ていただいている。化粧や爪の手入れもご利用者様の希望に添ったケアをしている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	厨房へ食事を取りに行ったり、盛付け、配膳、後片付けなど手伝って頂いています。小さいですが畑で採れた野菜を使って食べる事もあります。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス，水分量が一日を通じて確保できるよう，一人ひとりの状態や力，習慣に応じた支援をしている。</p>	施設の管理栄養士と連携をとり、栄養バランスのとれた食事を提供している。		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように，毎食後，一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	毎食後，出来る限り口腔ケアを促し実施している。		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし，一人ひとりの力や排泄のパターン，習慣を活かして，トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	排便チェック表を作成し、排便の周期を把握するよう努めている。また、個々の周期に合わせてトイレ誘導や声掛けを実施している。		
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し，飲食物の工夫や運動への働きかけ等，個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	毎日のラジオ体操や，晴れた日には散歩など日常生活の中で可能な範囲で身体動かして頂き，水分補給にも気を付けている。		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように，職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに，個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	基本的に順番は決まっておらず，ご本人様に聞いて入浴して頂いている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。</p>	居室や畳スペース、玄関のベンチなどを利用して頂き、好きな場所で過ごしていただいている。		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。</p>	職員全員が服薬について把握するようにしている。誤薬、服薬忘れのないように努めている。		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。</p>	利用者の趣味や特技を把握し、公民館のクラブ活動に参加している。また日常生活の中で出来ることは(皿洗いやゴミ捨て)はして頂いている。		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	誕生日にはご本人様と相談して行き先を決定する個別外出支援、近隣へ買い物やドライブを行うふらっと外出を行っている。		
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。</p>	金銭管理が可能な利用者は少ないため、施設側がお金を用意して立替で、買い物・外出をして頂いている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>家族に協力してもらい、可能な方のみ実施している。お正月はご家族様へ全員年賀状を送付している。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>共用空間には利用者の作品や季節を感じさせる作品を飾っている。家庭的な雰囲気を中心に掛けて空間づくりを行っている。</p>		
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>畳部屋に机を配置し、一人になれるこじんまりとした空間を作っている。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>居室の表札を一緒に作って頂き、可能な限り在宅で使用されていたモノなど馴染みのある物を置く、またご家族様の写真を飾るなどして心地よく過ごせるよう工夫している。</p>		
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>ご利用者様で状態が異なるが、出来ることはして頂く様にして頂き、残存機能を維持できるよう支援している。</p>		

V アウトカム項目 (2ユニット)			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらい ③利用者の3分の1くらい ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係やとのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の3分の2くらいが ③家族等の3分の1くらいが ④ほとんどできていない

(様式3)

2 目標達成計画

事業所名 グループホーム白木の郷

作成日 平成 25 年 2 月 6 日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	49	ふらっと外出が, 週1回実施できているが, 本来の生活と同じように日常的に毎日買い物に出かけたい。	毎日, 買い物(ふらっと外出)を行う。	1度を買う量を減らし, 週1を週2~3回に徐々に増やしていきたい。(最終的には毎日行う)	1年
2					
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には, 自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は, 行を追加すること。